

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) JFEフェライト株式会社			住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 712-8074 岡山県倉敷市水島川崎通1丁目				
本票作成	部署名 : 倉敷工場								
主たる業種	分類コード	28	業種名 : 電子部品・デバイス・電子回路製造業						
事業の概要	ソフトフェライトの製造、販売								
県内の主な工場等	番号	工場等の名称			所在地				
	①	倉敷工場			岡山県倉敷市水島川崎通1丁目				
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500㎘以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数) 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)								

計画期間	令和 7 年度 ~ 令和 9 年度 (3 箇年度)										
削減目標	いずれかを選択	□ 総排出量基準	目標削減率 1.4 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満		
		□ 原単位基準							○		
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 6 年度)				目標年度 (令和 9 年度)						
	3,463 t CO ₂				3,414 t CO ₂						
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称			基準年度 (令和 6 年度) の排出量						
	①	倉敷工場			3,463 t CO ₂						
					t CO ₂						
					t CO ₂						
					t CO ₂						
					t CO ₂						
					t CO ₂						

* 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 製品の生産量	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		5.686 t CO ₂ / (t)	5.606 t CO ₂ / (t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 6 年度)	達成率(%)

【目標削減率設定の基本的な考え方】

基準年となる令和6年度は、二酸化炭素排出量は3,463トンで、製品の生産量609トンで割ると、原単位は、5.686tCO₂/tであった。

目標年度の令和9年度は、製品の生産量は609トンで、二酸化炭素排出量を3,414トンに削減する前提。実行では、生産量の変動の可能性がある。

【目標削減率達成のための推進体制】

エネルギー管理統括者（工場長）
 -エネルギー管理企画推進者
 ※エネルギー管理員を兼務
 -製造部

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
倉敷工場	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー効率の悪い1号焼成炉を継続停止して、他の焼成炉で生産を行い、温室効果ガス排出量の削減を実施(2022年度6月から継続)。 照明のLED化を実施(数年にかけて推進中)。

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
倉敷工場	<ul style="list-style-type: none"> 電気焼成炉(3号焼成炉)操業条件の改善(温度管理改善等)による省電力 (実施時期の目安：令和7年4月～令和8年9月) LPG燃焼設備(脱バイ炉)の燃焼効率改善によるLPG使用原単位削減 (実施時期の目安：令和7年10月～令和9年3月) 集塵機等のインバーター化による省電力 (実施時期の目安：令和8年4月～令和9年12月) 照明のLED化による省電力(継続) (実施時期の目安：令和7年4月～令和8年9月)

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無
その他	無

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無
その他	無

【その他特記事項】

2025年7月に、経済産業省に、省エネ法の定期報告書と長中期計画書の提出を行っており、それと矛盾が無い内容としております。
 上記「再生可能エネルギーの導入計画」には記載は致しておりませんが、太陽光発電設備の導入検討は行う予定です。